



「もういいや」という背景を明らかにしよう

国労ちば

協議会が定期委員会開催

千葉工務協議会

3月20日、千葉地本会議室にて第33回工務協定期委員会が開催された。

開催の前段に昨年7月に亡くなられた新小岩保線分会の大和田茂摶で始まり、千葉土木分会の土屋憲一さんが議長に選出された。井村地本委員長は「東日本はペアゼロ回答。定期昇給が係数2という今までの半分し

か上げない」という回答。労働組合の必要性を訴えて組織拡大に結び付けなければいけない」とあいさつした。森田工務協議長は「2年目の若手社員が退職に追い込まれた。原因は人間関係。組合のないところで相談相手もないといふ状況

者に対しては拒まぬと

いう形。私たちが入社した時は鉄道に骨を埋

める気だった。今はそ

ういう時代ではない。

その様な報告も議論してほしい」と述べた。

討論では▼活動方針

案にエルダー制度に対

し「本体雇用を第一希望に面談で訴えていこ

う」と書いている文章

を見て元気が出た▼異動の発令が一週間前に

引継ぎがほとんど出来

ない▼「信頼できる協

力会社に施工させてい

るから簡素化する」が

国鉄労働組合
千葉地方本部
発責 井村 好博
編集 安田 正浩
【電話】
JR 2930 FAX 2934
NTT 043(238)5963
FAX 043(238)5967

国労を
知れば知るほど
好きになる

かえって超勤に▼線路閉鎖や保守用車の監督者に一本立ちした若手社員が3年位で異動してしまい、技術継承出来ず、社員が育たない▼ここ数年で超勤が当たり前になつている等々、最近の超勤問題や技術継承に対する意見が多く出された。

二週間前である。その間に苦情処理制度がある。超勤問題、転勤・技術継承の問題を常任委員会で討論し、問題解決してい

代、国労は「異動は首切りだ!」と闘ったが、今は「本体エルダーを希望しない」という現実。「じゃそれは何故なのか」。『労働条件』『人間関係』含め、もういいやと追い詰めている最悪に対し、会社を攻めていかなくてはいけない。発令は本来はいけない。発令は本来は二週間前である。その間に苦情処理制度がある。超勤問題、転勤・技術継承の問題を常任委員会で

はいけない。発令は本来



3月28日、国労千葉支社は「千葉県視覚障がい者の生活と権利を守る会」とともに、JR千葉支社で実施した「ワンマン運転」について調査を行った。JR千葉支社では、視覚障がい者の安全移動と利便性を確保するため、どのような問題があるのか合同調査した。

実際に乗車し車両や駅の設備を調査した後、意見交換し以下の声が出された。
*駅では「内方線付きの点字ブロック」「乗車位置までの誘導ブロック」「簡易改札機への誘導ブロック」がない。
*ワンマン車両では、ドアスイッチの位置がわかりづらい。点字案

「ワンマン運転」を実態調査



3月13日のダイヤ改正から、千葉支社管内をワンマン運転の電車が走っている。JR千葉支社は内房線・外房線・鹿島線で新型車両を使い説明会を開催し、訪れた人に利用者はドアの開け方も知らないまま利用している。

16日には、電車から降りようとした利用者が閉まりかかったドアに挟まれ骨折している。身体の動きの悪い、さらにドアの扱いを知らない利用者が降りようすると、「車内放送はしないよ」と「『車内放送はしないよ』と言われている。指令は情報を流れただけ。ダイヤ乱れで折り返し変更になり乗客に困られたが案内が出来なかつた」「発車時間を気にするのがこんなに疲れると思わなかつた。すべて一人で確認してクタクタ」「客室が見えずモニターを見てドア扱い。全てのドアが開かず本当に誰も降りないのか不安になるが、客室の様子

うとすれば当然起こりえる事故である。

一方の乗務員はといふと「『車内放送はしないよ』と言われている。指令は情報を流れただけ。ダイヤ乱れで折り返し変更になり乗客に困られたが案内が出来なかつた」「発車時間を気にするのがこんなに疲れると思わなかつた。すべて一人で確認してクタクタ」「客室が見えずモニターを見てドア扱い。全てのドアが開かず本当に誰も降りないのか不安になるが、客室の様子

うとすれば当然起こりえる事故である。

また、ワンマン運転により車掌がいらなくなつた鴨川運輸区では、12名の車掌が転勤させられるという。利潤追求のため利用者も社員もないがしろにする会社に怒り湧く。

JR東日本は3月18日、「賃金改善等についての申し入れ」に対し、ベア・ゼロ、定期昇給係数2を回答した。

国労東日本本部は「新型コロナウイルス感染症の不安と緊張の中、懸命に安全・安定輸送を支えている社員・家族に背を向ける回答である」と抗議し、持ち帰り検討とした。

その後も国労東日本本部は「係数2は現場の士気にかかわる」「株主配当や設備投資の一方で、社員にはさらなる犠牲を強いるもの」「社員は働き甲斐とは何なのか?を感じる」と、



3月10日、JESS 千葉支店の社員代表選挙の開票が行われ、会社が擁立した、それまで安全衛生管理者をしていた人たちなどが5つの管区中、4つの管

内も無い。車内トイレにも点字案内は無い。*ホームと車両の段差があり隙間も広く危険。

*運転台のモニターでは、すべてのドアから乗降終了を確認することは困難。*ホームドアの設置を早急に進めてほしい。

国労から、健常者であろうが、障がい者であろうが「移動する権利」が確実に保障される社会の実現に向けて、本日の調査行動で明らかになつた要望事項を集め、早急に千葉支社に改善を求めていくことを訴えた。

4月18日告示予定の茂原市議会議員選挙に立候補を予定している高山よしひさ氏の当選に全力をあげよう

JESS千葉支店で社員代表選挙開票

3月10日、JESS 千葉支店の社員代表選挙の開票が行われ、会社が擁立した、それまで安全衛生管理者をしていた人たちなどが5つの管区中、4つの管

期間が長く、さらに開票まで1週間も間が空く、管区単位の選挙なのに開票は支店で行うなど、異常だらけで取り組まれた。

5つの管区すべてで国労組合員が立候補したが、4割ほどの得票数に終わった。

地本、そして各管区など関係箇所では、今回総括をキチンと行っていこう。

また、社員代表が違

う人だからとそっぽを向かず、労働条件・環境を改善していくため、職場から声を出して、新しい社員代表を動か

てほしい。

また、社員代表が違

う人だからとそっぽを

向かず、労働条件・環境を改善していくため、職場から声を出して、新しい社員代表を動か

てほしい。

また、社員代表が違

う人だからとそっぽを